



保存版

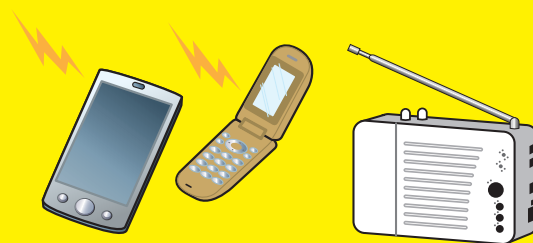
見える場所に保管して
お使いください

伊万里市

内水

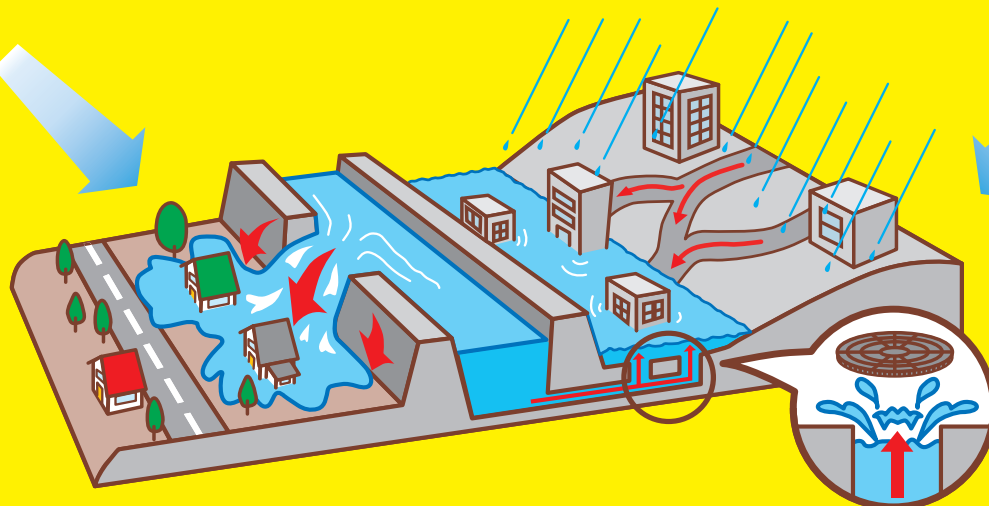
ハザードマップ

～いざという時に備えて～



外水
氾濫

内水
氾濫



2026年

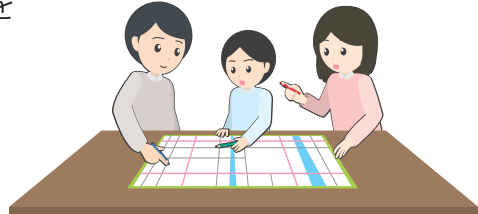
内水ハザードマップの使い方

この内水ハザードマップは、災害の発生により被害が想定される内容、場所を事前に知っていただき、災害に備えていただくことを目的としています。

内水ハザードマップの使い方

①まず、自宅の位置を確認しましょう

災害が想定される位置を確認しましょう。
自宅がある場所は、どのような災害が
予想されるのかを、地図を
みて確認しましょう。



②次に、避難所の確認をしましょう

指定避難所は避難場所等一覧表
や地図上に表記しています。
※どの避難所に避難されても
大丈夫です。
地図をみて確認しましょう。



③災害想定区域を避けて、 避難経路を決めましょう

避難経路を地図で確認し、
土砂災害や津波などの災害が想定
される場所を避けて避難できるよ
うにしましょう。



④実際に避難経路を歩いてみて、 安全を確認しましょう

家庭や地域で話し合いながら、
実際に歩いてみましょう。
避難経路に危険な場所がある場合
には、避難経路を見直しましょう。



■内水氾濫情報について

※伊万里市 内水浸水想定区域（公共下水道全体計画区域）

【想定最大規模降雨 153mm/時】

1) 説明文

① この図は、公共下水道全体計画区域において、想定最大規模降雨による浸水が想定される区域及び浸水した場合に想定される水深を示したものです。

② この内水浸水想定区域等は、指定時点の伊万里市の下水道の整備状況、想定し得る最大規模の降雨（1時間降水量153mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

③ このシミュレーションは、対象区域における下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。

④ 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住まいの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2) 基本事項等

① 作成主体：伊万里市

② 作成年月日：令和7年3月

③ 算出の前提となる降雨：想定最大規模降雨（最大降雨量153mm/時）

3) 注意事項

① この浸水想定区域図は地盤高や下水道などの状況を考慮した計算により作成したものです。実際の降雨では表示した浸水想定区域及び深さと異なる場合があります。着色された場所はほかの場所よりも浸水の可能性が高い場所ですので、大雨時は注意が必要です（浸水想定区域は計算に基づくものですので、必ずしも浸水が発生するというわけではありません）。

内水・外水氾濫について

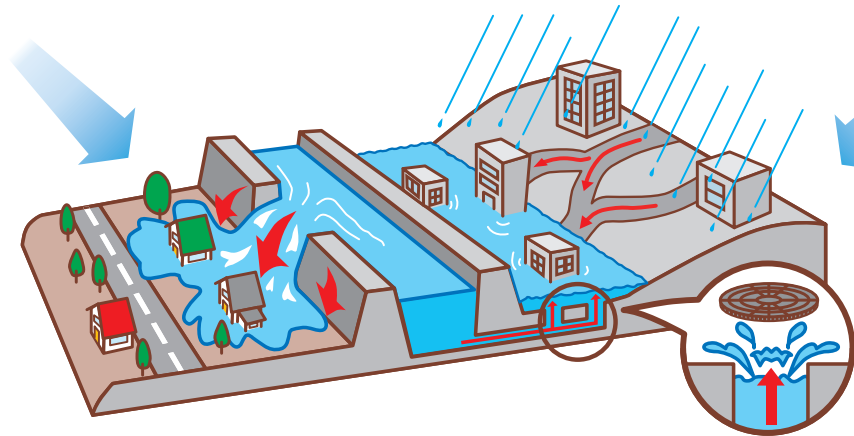
氾濫の種類

外水氾濫

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。

内水氾濫

下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水あるいは河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水

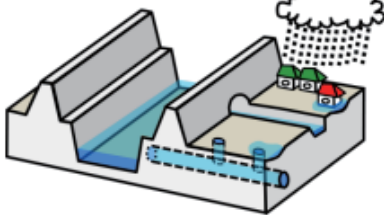


出典：国土交通省ウェブサイト (<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-portal/index.html>) を加工して作成

大雨に関する情報

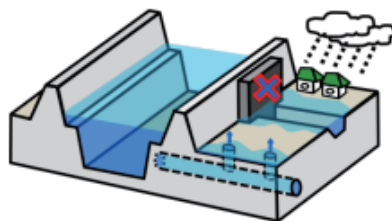
氾濫の種類に応じ気象庁が解析を行い、大雨に関する情報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。

氾濫型の内水氾濫



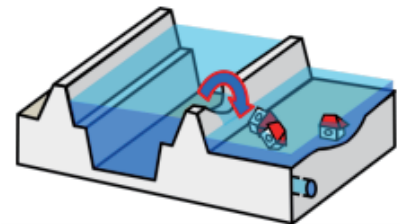
- ✓ 短時間強雨等により雨水の排水能力が追いつかず、発生する浸水。
- ✓ 河川周辺地域とは異なる場所でも発生する。

湛水型の内水氾濫



- ✓ 河川周辺の雨水が河川の水位が高くなったため排水できずに発生。
- ✓ 発生地域は堤防の高い河川の周辺に限定される。

その他河川の外水氾濫



- ✓ 河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。

情報発表に
利用する指数

表面雨量指数

表面雨量指数 + 流域雨量指数

流域雨量指数

出典：気象庁ホームページを加工して作成

避難行動のポイント、危険な場所

1. 情報の確認

- 雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。

2. 防災責任者の指示に従う

- 避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。

3. 動きやすい服装、集団での避難

- 避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。

4. 避難時の歩き方

- 避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の二階以上や近所のビルに避難しましょう。
- 浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。

5. 隣近所への呼びかけ

- お年寄りや子供、病気の方は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまとめておくとも便利です。

6. 車での避難は危険

- 自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

7. 橋や川の近くは危険

- 川が増水している場合には、川の流が速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。

8. 川や用水路を見に行かない

- 大雨の時に、川や用水路の様子を見に行ったことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

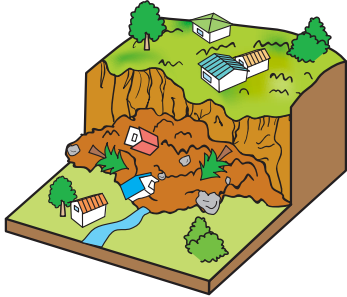
出典：国土交通省ウェブサイトを加工して作成

土砂災害情報

土砂災害の前触れに注意し、気がついた場合には速やかに避難しましょう！

土砂災害の種類

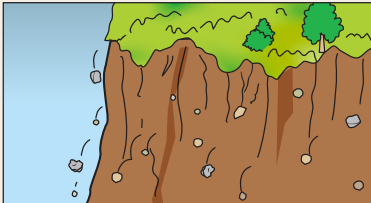
急傾斜地崩壊(がけ崩れ)



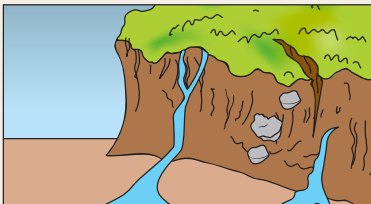
がけ崩れは、地中にしみ込んだ水分で斜面が突然崩れ落ちます。瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。また、地震が原因で起こることもあります。

予兆現象

- がけから小石がぱらぱら落ちてくる



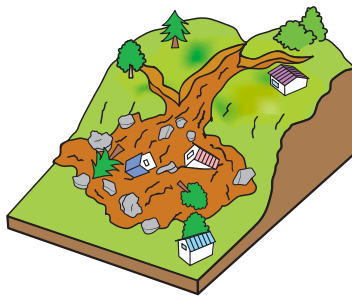
- がけから水が湧き出る



- がけに割れ目が見える



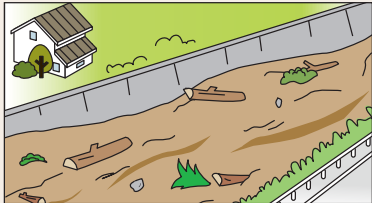
土石流



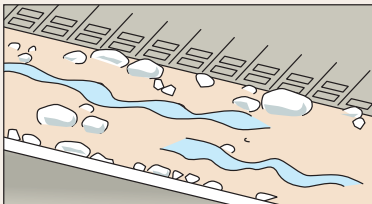
土石流は、谷筋で起きます。大量の土・石・砂等が集中豪雨など大量の水と混じり合って流れてくるので、速度が速く大きな破壊力を持っています。

予兆現象

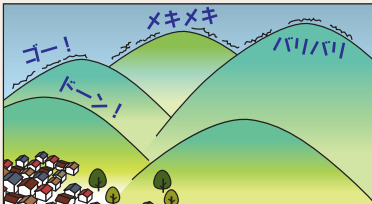
- 急に川の水がにごり流木が混ざる



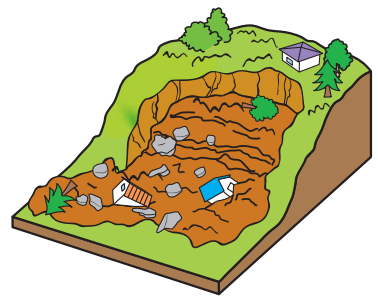
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



- 山鳴りがする



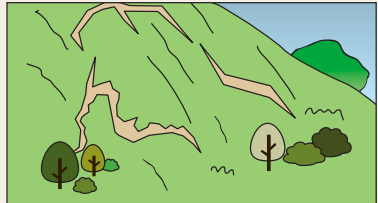
地すべり



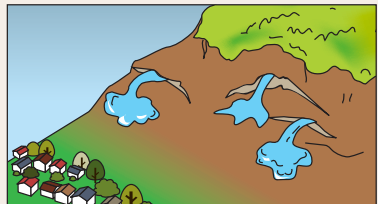
地すべりは、粘土などの滑りやすい地盤が一度に広い範囲で動き出します。速度はゆるやかですが、発生すると広い範囲で道路や建物に被害をもたらします。

予兆現象

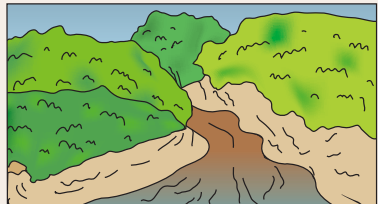
- 地面にひび割れができる



- 斜面から水が噴き出す



- 沢や井戸の水がにごる



土石流危険渓流とは・・・

土石流の発生する恐れがある渓流で、人家(人家が無くても官公署、学校、病院及び社会福祉施設等の要配慮者関連施設・駅・旅館・発電所等の公共施設がある場合を含む)に被害を及ぼす恐れがある渓流をいいます。

急傾斜地崩壊危険箇所とは・・・

勾配30°以上、高さ5m以上の急傾斜地で、人家(人家が無くても官公署、学校、病院及び社会福祉施設等の要配慮者関連施設・駅・旅館・発電所等の公共施設がある場合を含む)に被害を及ぼす恐れがある箇所をいいます。

危険箇所

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域について

県では、土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」に、さらにそのなかでも建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域を「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」に指定しています。住まいがある土地が警戒区域に入っていないかハザードマップで確認しておき、家が当該区域にある場合は早めに避難するようにしてください。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土石流・がけ崩れなどの土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域。

「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」

土石流・がけ崩れなどの土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められる区域。

佐賀県の土砂災害の危険度をご覧になれます。



佐賀県地理情報システム「安図くん」
(<http://anzu.pref.saga.lg.jp/>)

避難情報

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

<避難情報等>

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	緊急安全確保 ※1 ※1 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 〔市が発令〕
警戒レベル 4 全員避難	災害のおそれのある地域にお住まいの方は 速やかに避難先へ避難 しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難指示 ※2 ※2 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 〔市が発令〕
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 〔市が発令〕
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	氾濫注意情報・氾濫注意報 大雨注意報等・土砂災害注意報 〔気象庁が発表〕
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

<防災気象情報>

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報

氾濫特別警報
氾濫発生情報
大雨特別警報
土砂災害特別警報 等

警戒レベル4相当情報

氾濫危険警報
氾濫危険情報
大雨危険警報
土砂災害危険警報 等

警戒レベル3相当情報

氾濫警報
氾濫警戒情報
大雨警報
土砂災害警報 等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

～各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。～

避難情報の入手方法

伊万里市では、災害などの緊急情報を防災行政無線でお知らせします。放送を聞き逃したときには、次の伝達手段でも情報を発信していますので、可能な手段を活用し、身を守るために積極的な情報収集をお願いします。

1. 電話応答装置

防災行政無線の放送が聞き取れなかったときや、再度放送をお聞きになりたいときは、☎0955-23-2169に電話をかけていただくことで放送内容を聞くことができます。



2. 防災ネットあんあん(スマートフォンアプリ)

防災行政無線で放送をする内容は、佐賀県の防災・安全・安心に関する情報を配信するシステム「防災ネットあんあん」でも配信しています。右のQRコードを読み取って登録ができます。
[登録サイトURL] <http://esam.jp/>
※伊万里市からの情報を受けるためには、必ず市町情報の伊万里市を選択してください



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

3. 携帯電話会社の緊急速報メール

防災行政無線で避難勧告など緊急性が高い情報を放送する場合は、緊急速報メールを併せて配信します。



4. ケーブルテレビ

ケーブルテレビ(伊万里ケーブルテレビジョン、西海テレビ)に加入されているご家庭では、防災行政無線の放送内容をケーブルテレビでも確認できます。



5. 市ホームページ、SNS

防災行政無線で放送する内容は、市のホームページや市の公式LINE、X(エックス、facebook)などのSNSでも確認できます。



避難時の注意点

「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう！

戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょう。
避難時の持ち出し品は必要最小限になるようま
とめましょう。



メモを残す！

外出中の家族へは、避難先を記した伝言メモを
目立つところに残しておきましょう。

車での避難は控える！

緊急車両の通行の妨げになります。
浸水すると動けなくなりますので
危険です。



速やかに避難を！

動きやすい格好で、2人以上で避難しまし
ょう。災害に巻き込まれる可能性がある
ので、忘れ物などを取りに、家に戻ら
ないようにしまし
ょう。

浸水・土砂災害での避難の仕方

歩ける深さは50cm!!

歩ける水深は大人で平均50cm。
水がひざまで来たら助けを呼び、
高い所で救助を待ちましょ
う！



履き物に注意！

裸足、長靴は禁物です。
ひもでしめられる運動靴が
良いでしょう。



ロープでつなげる！

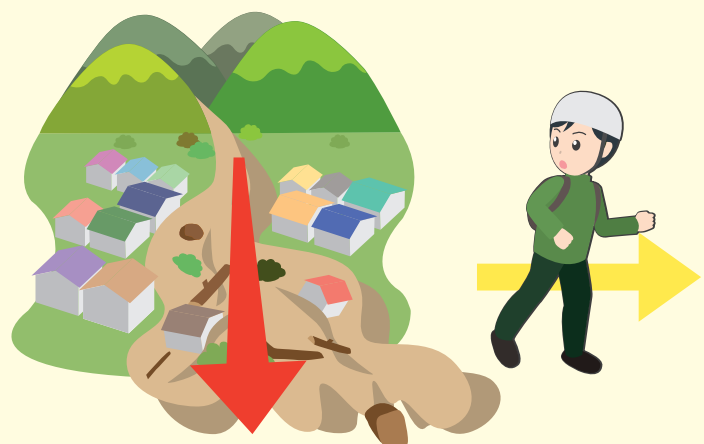
はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しまし
ょう！
また、水面下には危険が潜んでいます。
長い棒を杖がわりに安全確認をしてください。



！ もしも、土石流に遭遇したら

逃げ方に注意しましょう！

土石流は流れるスピードが速いため、流れ
を背にして逃げたのでは追いつかれてしま
います。土砂の流れる方向に対して、直角に
逃げる等、逃げ方に注意しまし
ょう。

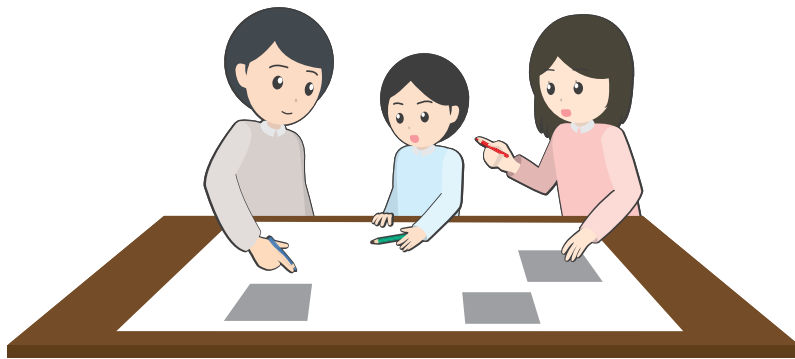


家庭での備えされていますか？

突然起こりうる災害を予測するのは難しいものです。いざというときの家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法などを普段から家族でよく話し合っておきましょう。その際、次ページの「非常備蓄品・非常持ち出し品の準備&チェック」を活用して、持ち出し品の点検も行っておきましょう。

家族で話し合っておきたい項目

- ① 家の中ではどこが一番安全か
- ② 救急医薬品や消火器などを準備しているか
- ③ 乳幼児や高齢者は誰がみるのか
- ④ 安全な避難経路、避難場所、避難所はどこにあるのか
- ⑤ 避難するとき、誰が何をもち出すのか、非常時持ち出し袋はどこに置くのか
- ⑥ 家族間の連絡方法と最終的に出会う場所はどこにするのか
- ⑦ 昼の場合と夜の場合の役割分担は、はっきり決まっているか
- ⑧ 地域の防災活動（自主防災組織の訓練など）に参加しているか



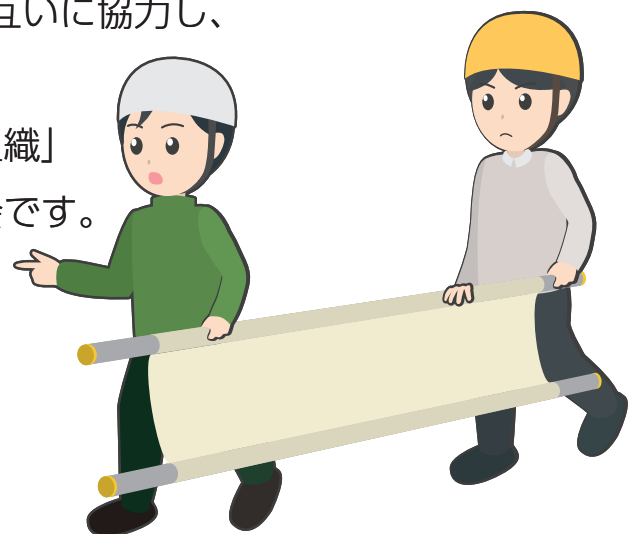
自主防災組織への参加

巨大地震などで大規模災害が発生すると、火災の複数同時発生や建物崩壊、交通網の寸断などで防災機能が満身に機能しなくなる可能性が考えられます。

こうした場合、個人や家族だけの力では各地域の被災者、負傷者を助けることは困難となるため、近隣住民や地域で一体となって協力して防災活動を行う「**共助**」が重要です。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えで隣近所がお互いに協力し、地域ひとつになって防災活動を行うのが「自主防災組織」です。

伊万里市では、各地区毎に「自主防災組織があり、」「自主防災組織」での訓練は、防災活動に関する知識や技術を学ぶのによい機会です。ぜひ参加しましょう。



非常備蓄品・非常持ち出し品の準備&チェック

非常備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水

- 飲料水としてペットボトルのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど



燃料

- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料



非常食品

- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)



その他

- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など
- マスク



使いながら備蓄する「ローリングストック法」を活用しよう!

災害用の保存食を大量に備蓄することは大変です。「ローリングストック法」とは、缶詰やインスタント食品、レトルト食品など普段利用している食品を多めに購入しておいて、使用した分だけこまめに買い足し一定量を備蓄する方法です。食料や飲料水のほか乾電池やカセットコンロのボンベなどにも活用でき、消費期限切れを防ぐ効果もあります。

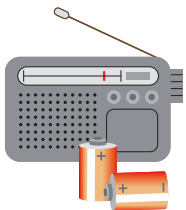


非常持ち出し品(例)

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ

- ラジオ
- 電池(多めに用意)



救急医療品

- 常備薬
- 傷薬
- 風邪薬
- 鎮痛剤
- 絆創膏
- 包帯
- 胃腸薬



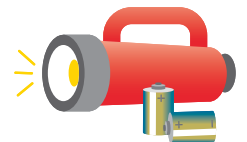
貴重品

- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 預金通帳
- 免許証
- 権利証書



懐中電灯

- 懐中電灯(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)



非常食品等

火を通さないうで食べられるもの、食器など

- 非常用食品
- 缶切り
- 紙皿
- 紙コップ
- 水筒
- 缶詰
- ミネラルウォーター
- 栓抜き



その他

- マスク
- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- 粉(液体)ミルク
- ウェットティッシュ
- ヘルメット
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- 内水ハザードマップ(本書)
- ロープ
- ハサミ
- 筆記用具・メモ帳
- ろうそく
- 軍手
- 応急手当て用品
- 離乳食
- ティッシュ
- ホイッスル



- 家族の連絡先
- 安否確認方法
- タオル
- 紙おむつ
- カップ
- ライター
- 携帯電話
- 携帯電話の充電器
- ゴミ袋
- ビニールシート

定期点検! いざというときに支障がないように、食品類の消費期限や持ち出し品の不備を定期的に点検しましょう。

非常備蓄品・非常持ち出し品は定期的に点検を!

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、スコップなど。

阪神・淡路大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、新聞紙、補助用具としてスコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。



非常備蓄品・非常持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の消費期限はまめにチェックし、消費期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

避難場所等一覧表

災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・公民館・公共建築物などを指定しています。

指定緊急避難場所

災害が差し迫った状況や発災時において、緊急的に避難し、身の安全を確保することができる場所

NO	施設・場所名	住所	管理担当連絡先	NO	施設・場所名	住所	管理担当連絡先
1	伊万里小学校 グラウンド	脇田町1419-1	0955-23-4128	12	旧大川小学校 グラウンド	大川町大川野2050-1	0955-23-2125
2	啓成中学校 グラウンド	木須町131	0955-22-3600	13	東陵学園 グラウンド	松浦町提川200	0955-26-2012
3	牧島小学校 グラウンド	瀬戸町216-1	0955-23-3350	14	旧松浦小学校 グラウンド	松浦町桃川4430-2	0955-23-2125
4	大坪小学校 グラウンド	大坪町甲2501-3	0955-23-6148	15	松浦運動広場	松浦町山形5490	0955-23-3187
5	国見台公園	二里町大里甲2153-1	0955-23-2632	16	国見中学校 グラウンド	東山代町長浜1750	0955-23-5195
6	立花小学校 グラウンド	立花町1901-1	0955-23-2100	17	東山代小学校 グラウンド	東山代町里70-1	0955-28-0024
7	大川内小学校 グラウンド	大川内町甲3280-1	0955-23-2542	18	旧滝野小中学校 グラウンド	東山代町滝川内3149	0955-23-2125
8	東黒川運動広場	黒川町畑川内2053-4	0955-23-3187	19	山代西小学校 グラウンド	山代町西分4475-1	0955-28-3015
9	青嶺中学校 グラウンド	黒川町福田66	0955-27-0053	20	山代中学校 グラウンド	山代町久原3080-1	0955-28-2026
10	波多津小学校駐車場	波多津町筒井11	0955-25-0064	21	浦ノ崎運動広場	山代町立岩390-1	0955-23-3187
11	旧南波多中学校 グラウンド	南波多町井手野2900	0955-24-2007	22	伊万里湾大橋球技場 グラウンド	山代町楠久津145-25	0955-28-2001

指定避難所

災害の危険性があり避難した方を災害の危険がなくなるまで必要な間滞在させ、または、災害により家に戻れなくなった方等を一時的に滞在させるための施設

NO	施設・場所名	住所	管理担当連絡先	NO	施設・場所名	住所	管理担当連絡先
1	伊万里 コミュニティセンター	松島町350-4	0955-23-9988	18	南波多 ミニスポーツ会館	南波多町井手野2896	0955-24-2001
2	伊万里小学校	脇田町1419-1	0955-23-4128	19	大川 コミュニティセンター	大川町大川野3340-1	0955-29-2001
3	啓成中学校	木須町131	0955-22-3600	20	東陵学園	松浦町提川200	0955-26-2012
4	牧島 コミュニティセンター	木須町5832-2	0955-22-5783	21	大川体育館	大川町大川野3340-1	0955-29-2001
5	大坪 コミュニティセンター	大坪町甲2863-1	0955-23-9898	22	松浦 コミュニティセンター	松浦町山形5490-2	0955-26-2001
6	大坪小学校	大坪町甲2501-3	0955-23-6148	23	二里 コミュニティセンター	二里町大里乙321-3	0955-23-3024
7	伊万里中学校	立花町4063-1	0955-23-4158	24	二里小学校	二里町大里乙284-1	0955-23-3463
8	立花 コミュニティセンター	立花町1891-79	0955-20-4567	25	国見台体育館	二里町大里甲2153-1	0955-23-2632
9	立花小学校	立花町1901-1	0955-23-2100	26	国見中学校	東山代町長浜1750	0955-23-5195
10	同和教育集会所	立花町1542-29	0955-22-7462	27	東山代 コミュニティセンター	東山代町里105	0955-28-0001
11	大川内 コミュニティセンター	大川内町丙2410-1	0955-23-2774	28	東山代小学校	東山代町里70-1	0955-28-0024
12	大川内小学校	大川内町甲3280-1	0955-23-2542	29	夢耕房たきの	山代町川内野4518-1	0955-28-0001
13	黒川 コミュニティセンター	黒川町塩屋504-1	0955-27-0001	30	山代 コミュニティセンター	山代町久原2697-2	0955-28-2001
14	青嶺中学校	黒川町福田66	0955-27-0053	31	山代東小学校体育館	山代町久原65	0955-28-2009
15	波多津 コミュニティセンター	波多津町辻2989-5	0955-25-0001	32	山代西小学校	山代町西分4475-1	0955-28-3015
16	波多津小学校校舎	波多津町筒井11	0955-25-0064	33	山代中学校	山代町久原3080-1	0955-28-2026
17	南波多 コミュニティセンター	南波多町井手野2685-1	0955-24-2001				

想定し得る最大規模の降雨時に浸水する指定避難所は以下の1施設があります。
 想定し得る最大規模の降雨が見込まれる場合で、床上浸水する避難所においては市の指示に従って2次避難所に避難することになります。

指定避難所	伊万里コミュニティーセンター	→	2次避難所	伊万里市民センター2階
-------	----------------	---	-------	-------------

福祉避難所

NO	施設・場所名	住所	NO	施設・場所名	住所
1	老人福祉センター	松島町73番地1	10	特別養護老人ホーム グランパランいまり	大坪町乙1579番地2
2	山代コミュニティーセンター (旧 山代老人憩の家)	山代町久原2721番地	11	ショートステイグランパランモワ	大坪町乙1579番地13
3	社会福祉法人東方会 障害者就労支援センター	二里町大里乙3609番地	12	有料老人ホーム グランパランラシュレ	大坪町乙1518番地4
4	佐賀県立伊万里高等学校体育館	二里町大里甲2600番地	13	介護老人保健施設 西光苑	大坪町乙1579番地2
5	佐賀県立伊万里特別支援学校体育館	大坪町丙1427番地	14	ケアポート楽寿園	大坪町乙1579番地13
6	佐賀県立伊万里実業高等学校 (農林校舎) 体育館	二里町大里乙1414番地	15	養護老人ホーム 伊万里向陽園	立花町2404番地10
7	佐賀県立伊万里実業高等学校 (商業校舎) 体育館	脇田町1376番地	16	松浦健康増進施設	松浦町山形5092番地4
8	特別養護老人ホーム 長生園	立花町2703番地2	17	住宅型有料老人ホーム いこいの里伊万里	立花町2394番地1
9	特別養護老人ホーム 敬愛園	黒川町大黒川2201番地	18	有料老人ホーム はれいゆ	伊万里町甲629番地
			19	ケアハウスいまり	山代町楠久929番地97

福祉避難所は、災害時に必要に応じて開設される二次的避難所であり、発災当初から避難所として利用することはできません。
 まずは、お住まいの近くにある一般避難所へ避難をお願いいたします。
 次に、避難所生活が困難と判断される場合に、福祉避難所が開設され必要性の高い方から優先的に移っていただくこととなります。

早期立ち退き避難

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊をもたらすような河岸侵食や氾濫流が発生するおそれがある堤防沿いの地域は、早めの立ち退き避難が必要です。
 なお、家屋倒壊等氾濫想定区域は水位周知河川のみ指定されています。(令和元年度指定)

これらの区域では早めの立ち退き避難を徹底してください

河岸侵食

河岸が削られて家屋が崩落するおそれがあります。



氾濫流

堤防の決壊や氾濫流により木造家屋の倒壊のおそれがあります。

